東京都社会福祉事業団
発行：東京都七生福祉園　所在地：東京都日野市程久保 843

七生福祉園だより

第 265 号　平成 31 年 3 月 28 日

平成30年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は株式会社日本生活介護です。児童施設と成人施設の評価の概要は次のとおりです。

	児童施設（福祉型障害児入所施設）	成人施設（障害者支援施設）
特に良いと思う点	1 特別支援学校卒業後、スムーズに地域移行できるよう力を入れて取り組んでいる。 2「ななおゼミ」の取り組みを通じて職員一人ひとりが支援の専門性（スキル）の共有を行っている。 3 ＩＣＴ化を推進して、園内ＬＡＮの活用やＩＣＴ資産管理ソフトの導入等、情報管理の効率化とセキュリティ向上の両立に努めている。	1 利用者の意向や特性に沿って選択できる多様な日中プログラムが提供されている。 2 ＩＣＴ化を推進して、園内ＬＡＮの活用やＩＣＴ資産管理ソフトの導入等、情報管理の効率化とセキュリティ向上の両立に努めている。 3 地域に根差した事業所として、園の持つ専門性を地域に積極的に還元している。
さらなる改善が望まれる点	1 人材不足という課題への対応策として、人材確保・離職防止のための取り組みを継続・発展させていくことが期待される。 2 虐待防止やより良い支援という観点から利用者の呼称について常に振り返りを行いながらの取り組みに期待したい。 3 服薬事故防止のために薬の受渡し方法を変更しており、その効果の検証と継続が期待される。	1 利用者の高齢化と虚弱化の進行に対する支援体制の検討など、今後の対策の継続に期待したい。 2 人材不足という課題への対応策として、人材確保・離職防止のための取り組みを継続・発展させていくことが期待される。 3 支援の専門性についての再認識と共有に関する議論の活発化に期待したい。
特に力を入れている取組	1 個別支援計画の独自の書式へと変更など、児童主体の支援に取り組んでいる。 2 対人関係構築や性教育など児童に必要な知識をロールプレイでわかりやすく伝えている。 3 研修内容を充実させるとともに、園の課題に対応した実践的な取り組みを行っている。	1 研修内容を充実させるとともに、園の課題に対応した実践的な取り組みを行っている。 2 自立訓練の利用者を対象とした「らすく」があり、地域移行を計画的に支援をしている。 3 通所から就労まで利用者の特性に合わせて丁寧に支援をしており、職場定着率は高い。

✿ 詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション（http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/）」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。（ホームページ掲載は４月中旬となる予定です。）

✿ 園では評価結果を踏まえ、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。

✿ ファイルを閲覧希望の方は、事業推進グループにお申し出ください。

＜今季のインフルエンザ等の発生状況＞

今季（昨年12月以降）のインフルエンザは、1月に入ってから流行しましたが、都内での流行と同様、ピークからの終息も早かったところです。一方、感染性胃腸炎（疑いも含む）は2月、インフルエンザと入れ替わるように流行し、一部の成人寮では7割近くの利用者さんが発症しました。今回の経験を基に、衛生管理・健康管理をさらに徹底し、感染防止に努めていきます。

○インフルエンザ（すべてＡ型）　計47名（利用者33名・職員14名）
○感染性胃腸炎（疑い含む）　計34名（利用者28名・職員6名）

今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況など

（人）

児童	入所	退所	（退所先内訳）		
			グループホーム	成人施設	家庭
	16	18	9	5	4

成人	入所	退所	（退所先内訳）		
			グループホーム	他施設	その他
	0	5	1	2	2

【児童支援部門】　今年度の入退所状況ですが、3歳から15歳までの児童16名が新しく入所し、退所した児童は19名でした。グループホームへ地域移行された方は9名でした。

【成人支援部門】　退所された方の内訳としては、グループホームへ移行された方が1名、他施設や病院へ移行された方が2名、病院で亡くなられた方が2名でした。

春フェス～ななお

3月3日（日）、あいにくの雨の中ですが、第4回「春フェス～ななお～」が開催されました。

今年もアフリカン太鼓「ジュンチ～ノ」の陽気なリズムから春フェスがスタートしました。アフリカの民族楽器『ジェンベ』は羊の皮を使った太鼓で、実際に利用者の皆さんも叩くことができる貴重な機会になりました。田園調布学園大学のチアリーディングサークルは、皆さんが楽しめる音楽に合わせてダンスを披露してくれました。特に『ＹＭＣＡ』は子どももおとなも大盛り上がりでした。また、今回から八王子市のご当地ヒーロー「転生合神ゲンキダーＪ」が登場しました。利用者の皆さんは大きな声で応援し、ショーの後は一緒に写真を撮ったり、握手をしたり、楽しまれていました。最後は「みんなでダンス」のコーナーです。『ＵＳＡ』などお馴染みの曲から『おかあさんといっしょ、ブンバボーン』まで、出演者の皆さんと一緒に踊り楽しみました。

春フェス実行委員会を発足して2年目のイベントでしたが、今年も来園された出演者、利用者、職員が一緒に過ごす良いイベントになりました。次回の開催を期待する声も届いており、今後も続けていきたいと考えています。

日野市ボランティアによる手話ダンス、手品

3月19日、高齢者班の活動の中で、ボランティア5名により、手話ダンスや手品を披露していただきました。手話ダンスでは「瀬戸の花嫁」「高校三年生」「幸せなら手を叩こう」など、利用者のなじみの曲による、素敵な衣装でのダンスは、大いに盛り上がりました。手品では、出演者の手伝いをする利用者に「頑張って」と声をかけ合う場面もあり、みんなで歓声を挙げて楽しみました。コーヒータイムでは、ボランティアの方々と歓談するなど、地域の方々との触れ合いに素敵な出会いを感じました。「是非、また呼んで下さいね」と温かい言葉をいただき、このご縁が長く続くことを願うばかりです。

nanaoスナップ

日中保育　卒室式

（児童）お祝い献立